

コラム 「2014 ふゆぴア・フェア in 釧路」への参加・出展

平成 26 年 1 月 23 日（木）、24 日（金）の 2 日間、「2014 ふゆぴア・フェア in 釧路」が釧路市で開催されました。このフェアは、地域の暮らしに密着した様々な取組みや寒冷地独特の自然を活かした冬期観光の活性化など、行政や地域住民、企業、NPO 等が一堂に会して情報発信や意見交換を行うことにより、寒冷地の魅力あふれる地域づくりの実現に資することを目的として、東北、北陸で開催されている「ゆきみらい」と輪番で、3 年に一度、北海道内で開催されているものです。寒地土木研究所からは、「ふゆぴア展示会」において、研究成果を紹介したパネルや模型の展示、「除雪機械展示・実演会」において、研究チームが開発した機械の展示を行いました。

ふゆぴア展示会は、快適な冬の生活環境づくりのために必要な克雪・利雪技術などをブース展示により紹介し、積雪寒冷地の自然・生活文化などの魅力を情報発信することを目的に、釧路市観光国際交流センターで開催され、今回、雪崩・地すべり研究センターと寒地土木研究所が出展を行いました。寒地土木研究所からは 6 つの研究チームが開発した技術や研究内容についてのパネル展示を行うとともに、スマートショット工法に関するコンクリートの模型や、落雪防止格子フェンスの模型展示、インターネットによる吹雪視界予測情報の提供についての PC モーター画面上での説明を行いました（写真-1）。

除雪機械展示・実演会は、釧路港耐震旅客船岸壁で開催され、除雪機械メーカーや寒地土木研究所の 8 団体が参加しました。ここでは国内各メーカーや関係機関により研究・技術開発された除雪技術や除雪機械を紹介するとともに、安全で安心な雪国の地域づくりに欠かせない除雪機械を身近に感じてもらうことを目的に、最新の除雪技術・除雪機械の展示や、実際の雪山を用いての実演会が行われました。除雪機械の展示・実演会では、路面のすべり抵抗値を連続的に測定する「連続路面すべり抵抗値測定装置」、冬期歩道の雪氷路面を破碎処理する「氷板・圧雪路面処理装置」やそのデモ動画、雪氷関連の研究開発技術のパネルを展示しました（写真-2）。

これらの展示会では、一般の方も含め、雪氷対策や技術開発に携わっている民間や行政の方など多くの方が一堂に会することで、積雪寒冷地で暮らす上で必要となる様々な技術や知恵などを情報交換することができたと考えています。

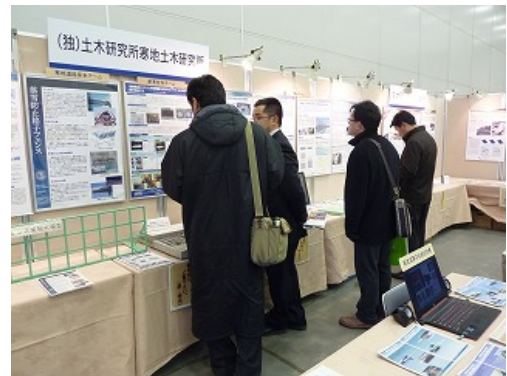


写真-1 ふゆぴア展示会における
寒地土木研究所の展示



写真-2 氷板・圧雪路面処理装置展示状況